

平成22年3月31日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19510262

研究課題名（和文）東アジアの秩序と関わりあう、現代韓国の歴史認識／論争および大衆文化

研究課題名（英文）Modern Korean understanding (debate) of history and pop culture, related East Asian order

研究代表者

趙 寛子 (JO GWANJA)

中部大学・人文学部・准教授

研究者番号：30410658

研究代表者の専門分野：文学、歴史（思想史、文化史、日韓関係史）、地域研究

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：東アジア、歴史認識、文化、ナショナリズム

1. 研究計画の概要

本研究は、民主化・世界化・情報化の進んだ韓国社会における歴史認識の諸論争、および大衆文化の動向を観察し、それが東アジア諸国の外交関係や国民感情、およびグローバル（グローバル＋ローカル）な社会秩序の形成と影響しあう側面を考察するものである。

2. 研究の進捗状況

本研究では、(1)近年の韓国、朝鮮半島における大衆的な歴史認識（論争）と文化の動向を調べると同時に (2)1945年後、朝鮮半島における歴史認識の変容、その東アジア的な秩序認識のあり方を調べてきた。具体的には ①脱北者の歴史認識を調べるためにインタビューを行った。2007年度に、中国の朝鮮族自治区である延吉を訪問し、朝鮮族と脱北者の歴史認識、および対米・対中・対韓・対日認識を調べた。さらに2008年にはソウルに定着した脱北者をインタビューした。その内容は、中部大学国際関係学部が主催したシンポジウムや授業、講演会など、公共の場で報告し、議論することができた。② 文献資料（1945年から1980年代までの雑誌の論文・記事）を中心に韓国における東アジア秩序認識を調べた。その過程で、韓国の民族主義・自由主義の思想運動が4・19（「民主革命」）と5・16（「軍事革命/クーデタ」）などをきっかけに如何に変化してきたのかも分かった。文献調査の結果は、「1950-60年代の韓国における東アジア秩序観——雑誌『思想界』『青脈』を中心に、——現代韓国における思想（論争）、歴史認識の在り方と関連し

て」という報告文にまとめた。③ 2009年度には日本と韓国における「新米と反米」の歴史、さらに現在の日・中・韓における＜反米ナショナリズム＞と東アジア秩序の問題について言及する論文や書評を発表した。また学生運動史の変化とその在り方を研究して、シンポジウム・授業などで発表した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(1)1945年から1980年代までの雑誌の論文・記事を調べ、学会などで「1950-60年代の韓国における東アジア秩序観」、「60年代以後の韓国学生運動史を再考する」などを発表し、報告書を作成した。

(2)脱北者のインタビューを行い、その歴史認識を調べた。その内容は、中部大学国際関係学部が主催したシンポジウムや授業、講演会など、公共の場で報告した。また1980年代に韓国に留学していた在日朝鮮人作家（李良枝）の韓国・日本認識に関する論文を発表した。

(3)東アジア秩序認識とかかわる「親米と反米」の歴史、さらに現在の日・中・韓における＜反米ナショナリズム＞について論じる内容の書評を書いた。また、1950年代から60年代にかけて、アジア主義と共鳴する日韓の民族主義について論文を発表した。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 文献資料の調査をつづけて、論文にまとめる。とくに、冷戦時代の韓国の自由主義・民族主義の歴史的な変化について論文化する。

(2) 冷戦が崩壊し、中国をふくめグローバル化が進んだ 1990 年代以降、日本と韓国の大衆的な歴史認識はまたどのように変化してきたのか、その在り方を調べ続ける。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- ① 趙寛子「帝国日本のロマンと東アジア民族主義——日本浪漫派の記憶、1950—1960 年代」(韓国語版)、ソウル大学日本研究所『日本批評』第 2 号 (28-53 頁、査読有)、2010 年 2 月
- ② 趙寛子「李良枝が探り出した言語のルール」(韓国語版) 国際韓国文学文化学会『사이間 SAI』第 3 号 (217-253 頁、査読有)、2007 年 11 月

[学会発表] (計 3 件)

- ① 趙寛子「60 年代以後の韓国学生運動史を再考する」『反乱する若者たち——1960 年代以降の運動・文化』、2010 年 1 月 9 日、名古屋大学日本近現代文化センター(名古屋大学)
- ② 趙寛子「1950-60 年代の韓国における東アジア秩序観——雑誌『思想界』『青脈』を中心に／現代韓国における思想(論争)、歴史認識の在り方と関連して」第 10 回「19 世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究」研究会、2008 年 12 月 20 日、国際高等研究所(奈良)
- ③ 趙寛子「『満洲』を中心とした「東アジア」地域秩序論の諸相」『東アジア思想史国際学術シンポジウム』、2007 年 8 月 6-7 日、東北師範大学歴史文化学院・アジア文明研究院・世界文明史研究センター(中国、長春)